

CANON INDUSTRIAL IMAGING PLATFORM

Vision Edition

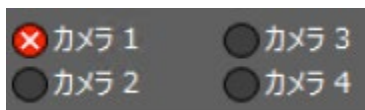
Q & A

Vision Edition Q & A



Vision Editionの起動タイミングを変更したい

Vision Editionが入ったパソコンとネットワークカメラの電源を同時にONさせると、VisionEditionの起動がネットワークカメラよりも早いときがあるため、カメラ接続がNGとなってしまいます。パソコンが起動した後、一定時間経過後にVisionEditionが起動するようにしたい。



所定の遅延起動用ファイルにより遅延時間を任意変更できます

- 手順1. メモ帳を管理者権限で起動する
- 手順2. “C:¥Program Files (x86)¥Canon¥CIIP_VisionEdition” にある “DelayRun.vbs ” を開く
- 手順3. 6行目の WScript.Sleep(40000) の数値を遅延したい時間(msec)に変更する（半角数字）
- 手順4. ファイルを上書き保存する(UTF-8/BOM無)

DelayRun.vbs - メモ帳

ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

```
Dim objWS
```

```
Set objWS = CreateObject("WScript.Shell")
```

```
Set objFS = CreateObject("Scripting.FileSystemObject")
```

```
WScript.Sleep(1000)'Set delay time (msec)
```

```
parentFolderPath = objFs.getParentFolderName(WScript.ScriptFullName)
```



注意

デフォルトでネットワークカメラの再遅延機器に応じた遅延時間（40秒）が設定済みですので、特に問題がなければ、本変更作業は必要ありません。



注意

シーメンス製IPC427E等の組み込み系OSをご使用の場合、本変更の前に [システム設定] → [無効化] により設定変更が保存できるようにしておく必要があります。

システム設定



無効化

現在、システムが保護されています。設定を変更するときは、無効化ボタンを押してください。